

家庭学習のすすめ

連携して子供の学びを支えましょう

学校では

- ①基礎的・基本的な技能及び知識の習得を目指します。
- ②思考力・判断力・表現力を育成します。
- ③学ぶ意欲と学力の向上を目指します。
- ④友達とともに学び合う人間関係の醸成を図ります。



家庭では

- ①生活の中に学習時間を定着させます。
- ②決めた場所で宿題を確実にやりとげます。
- ③自分で課題を決めて学習を進めます。
- ④家族の一員としての役割を果たします。

連
絡

生活のリズムを作る 「早寝早起き」「朝食を食べる」「始業時刻には着席する」等のリズムを整える。

すかさず褒める ちょっとしたがんばりでもしっかり見つけてすかさず褒める。

好奇心を高める 身の回りや社会の出来事に目を向けさせる。地域の行事に参加する。

読書に親しむ よい本にたくさんふれる。図書館を積極的に活用する。

集団の一員として 家庭・学級・学校・地域の一員として自分にできることに取り組む。

学習環境を整える 机の上、机の周りなど自分が学習する場の整理整頓をする。

相
談

協 力

子供の内に眠っている、夢の卵を大きく成長させ、立派に孵化させるためには、教師や親が外から殻をつつく力と子供が内からつづく力が合わさることが大切です。「連絡・相談・協力」を大切にして学力向上を目指しましょう。

舟橋村立舟橋小学校

【低学年】



学習時間の目安

1年 20分 / 2年 30分

◎ 子供の特徴

- ・規則正しい生活習慣を身に付けることが学習習慣の定着につながる。
- ・褒められることが嬉しく、褒めることによって関心意欲を高め、学習意欲が高まる。
- ・親に頼ることも多く、何でも相談してくる。

○ 学校では

- ・机の周りの学習環境を整えることを身に付ける。
- ・45分間の学習時間をリズムとして体で覚える。
- ・具体物を使ったり、体験したりして生活に結び付けて学ぶ。

○ 家庭では

- ・学校からの連絡等を子供とともに確認し、必要なものの準備をする。
- ・一緒に家事や買い物をして子供の生活体験を増やしたり、数量感覚を養ったりする。
- ・子供の興味関心に応じた本を用意する。
- ・あいさつの大切さを繰り返し教える。

【中学年】



学習時間の目安

3年 40分 / 4年 50分

◎ 子供の特徴

- ・自立心が芽生え、「やる気」「根気」などが育つ一方、徒党を組んでできまりを破ることがある。
- ・抽象的な思考が徐々にできるようになってくる。
- ・勉強を難しく感じ、苦手意識が出てくる。

○ 学校では

- ・社会や理科、総合的な学習の時間の学習が始まる。
- ・辞典や資料を使って調べる学習が多くなる。
- ・算数では、分数や小数などが出てくる。

○ 家庭では

- ・励まし、徐々に自分でできることを増やす。
- ・自分から進んで学習に取り組む習慣を身に付けさせる。
- ・地域や社会の文化、産業、自然に触れる経験を積ませる。

【高学年】



学習時間の目安

5年 60分 / 6年 70分

◎ 子供の特徴

- ・生活習慣の乱れが見え始めるので、今一度の見直しが必要である。
- ・自分の目標に向かって努力する意志が高まってくる。
- ・思春期の入り口で心身ともに不安定な状態になりがちである。

○ 学校では

- ・学習内容が難しくなり、論理的思考を高めることが求められる。
- ・筋道を立てて話したり、書いたりする力が身に付いてくる。
- ・自ら学ぶことを楽しいと感じられるようになり、自学ができる。

○ 家庭では

- ・自尊感情を高めるような言葉がけを意識する。
- ・家族の一員としての役割をしっかりと果たすように働きかける。
- ・人間関係の変化に気を配り、わずかな悩みでも受容的に理解するようにする。
- ・様々な分野の本を読むように勧める。